

# 四国大学が生配信スタジオでICT教育を加速

## 高性能PCでeスポーツにも対応

建学の精神「全人的自立」の実現を目指して、地域や世界で活躍できるDX人材を全学部で育成し、映像コンテンツ制作やeスポーツ分野などで四国大学のプレゼンスを高める。



徳島県の四国大学は大学院・短大と合わせて約3000人の学生が通う私立大学だ。2021年10月1日、マウスコンピューターと地域発展や教育研究の充実および人材育成に寄与することを目的に包括連携協定を締結した。

松重和美学長は「コロナ禍でオンライン授業が増えるなど学生がPCを必要とする機会が増えただけでなく、政府のAI戦略により大学にも教育改革が求められている。授業でのICT活用や教員の研修などやるべきことは山ほどある。マウスコンピューターと協定を締結したことで、懸案だった教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)を

進めていく」と話す。

政府は2019年に公表した「AI戦略」で、2025年までに「年間100万人の全ての高校生」「文理を問わない全ての大学・高専生年間50万人」に対してAIリテラシー教育を行う取り組みを進めており、大学教育でPCを使う機会はますます増えていく。

### キャンパスPCやPCルームを整備

マウスコンピューターとの協定締結を推進した情報戦略課課長の住吉孝次氏は2021年3月まで徳島県政策創造部



松重学長は「提携をきっかけに大学のDXを推進していく。最新の設備を整備したTAG-RIBA STUDIOは新しい大学教育の場となる」と話す



マウスコンピューターとの提携を進めた住吉氏は「卒業後も役に立つITスキルを学生たちに身に付けさせることは大学の役割でもある」と話す



PCルームにはマウスコンピューターのスリム型デスクトップPC「MousePro Sシリーズ」約220台とiiyamaの21.5型液晶ディスプレイ約400台を整備した

地方創生局Society5.0推進課（現在はデジタルとくしま推進課）に所属し、区市町村の共同システムなどICT環境の整備などを担当してきた。四国大学のDXを推進するため出向を命じられた住吉氏は、情報戦略課で情報インフラ整備やセキュリティ強化、業務のDX化、環境整備・支援を担うことになった。

住吉氏は「GIGAスクール構想で高校でもパソコンを使うようになり、2022年度から教科『情報I』が必修になるなど学修環境はこの数年で大きく変わった。大学でも4年間を通じて使えるパソコンが欠かせない」と話す。

協定に基づき、まず学生が大学生活を通じて安心して使えるよう、マウスコンピューターのノートPCの「MousePro-NB420H」と「DAIV 4N」の2モデルをオリジナルのキャンパスPCとして用意した。大学専用の24時間365日対応のサポートに加えて、4年間の無償修理保証や破損盗難保証が付いたモデルも用意した。四国大学の2022年度の入学生のうち、機種指定のない学部および短期大学部を除くと3人のうち1人に当たる入学生がキャンパスPCを購入したという。

住吉氏は「Society 5.0と呼ばれるこれからの社会では、ICT環境やAIなど情報活用能力が重要となる。そういった社会を生き抜ける学生を輩出できる大学が生き残るだろう。企業では事務職をAI人材として配置転換するような再教育が進んでいる。これまでの学びに加えて、学生が卒

業後にAI人材として生きていけるよう支援するのが大学としての重要な役割だ」という。

そこでまず学内のICT環境づくりをしていく必要がある。学内の無線LAN環境を整備し、PCルームにもマウスコンピューターのスリム型デスクトップPC「MousePro Sシリーズ」約220台とiiyamaの21.5型液晶ディスプレイ約400台を導入して、最新のICT環境で学べるようにした。

## ライブ配信スタジオ「TAG-RI-BA STUDIO」を開設

マウスコンピューターとの協定締結を機に、四国大学のDXは一気に進み始めた。2022年に入って大学専用のライブ配信スタジオ「TAG-RI-BA STUDIO」の計画が始まった。最新のパソコンや最先端の放送機器などの設備の整備だけでなく、映像業界の第一線で活躍する講師による指導を計画しており、高度で質の高い遠隔授業や大学関連ウェビナー（YouTube Liveも含む）を配信できるハウススタジオとして利用しようというものだ。

このライブ配信スタジオをさらに活用すべく立ち上がったのが、学生が自主的に運営するサークル組織の「四国大学放送局」(SBC)だ。学内外のタイムリーな話題をニュースとして取り上げ、定時番組のライブ配信等を継続的に運営するためのYouTubeスタジオとして、スタジオを活用している。



TAG-RI-BA STUDIOに設置された「G-Tune HP-Z」は、CPUにインテルCore i9-12900KS、GPUにGeForce RTX 3080 Tiを搭載したハイエンドモデルのデスクトップPC。高精細な解像度でeスポーツができる。液晶ディスプレイはiiyamaの「G-MASTER GB2590HSU-2」。画面のリフレッシュ・レート240Hzでなめらかな映像を表示する



配信設備として設置した「G-Tune H5」は、CPUにインテル Core i7-11800H、GPUにGeForce RTX 3070 Laptop GPU/インテルUHDグラフィックスを搭載する最新世代のノートPC

四国大学には、経営情報学部ICT教育を実施するメディア情報学科があり、映像コンテンツの編集や制作なども授業で学ぶ。文学部や生活科学部、看護学部などと比べるとICTリテラシーの高い学生が多い。SBCにはこの学科だけでなく、児童学科、健康栄養学科、人間生活科学科などの学生も在籍する。2022年6月時点で22人が活動している。

SBCは制作部、アナウンス部、技術部、総務部に分かれていて、本格的な放送局のように運営されている。活動内容は学内の話題の取材や報道、映像や音声によるニュース番組の制作や放送など幅広い。学内の情報だけでなく、地域の話やイベント等をニュース番組として報道したり、ライブ配信を行ったりするなど様々な活動を行っている。

大学としてはSBCが、学生が課題発見や解決能力や企画提案力、メディア活用能力、時間や目標管理能力、コミュニケーション能力などを身に付けていける、第2の学びの場になることを期待している。

ライブ配信スタジオの愛称「TAG-RI-BA」(タグリバ)は、「指針」や「導く」を意味するTAGから取った言葉で、出会いや機会をたぐり寄せ、情報を得る場になってほしいという思いが込められている。

TAG-RI-BA STUDIOは学内施設をリノベーションし、ハウスタジオスタイルの多目的スタジオとして整備し直された。4K放送に対応した最新の配信機材を導入し、マ

ウスコンピューターが協賛した3台のPCも設置するなど、ライブ配信スタジオとしては最先端の設備を用意した。

松重学長は「TAG-RI-BA STUDIOを学内の施設として使うだけでなく、地域連携における共創の場としても活用し、四国大学のプレゼンスを向上させていきたい」と期待を寄せる。

### 徳島県の産学官連携の場に

8月19日に開催されたTAG-RI-BA STUDIOのオープニング・セレモニーには、四国大学の関係者に加えて飯泉嘉門徳島県知事、小松永門マウスコンピューター社長が駆け付けた。



TAG-RI-BA STUDIOで番組を撮影するSBCのメンバー

飯泉徳島県知事は「徳島県は光ブロードバンド環境などICTインフラ整備を積極的に推進し、eスポーツにも力を入れてきた。中央省庁の消費者庁本庁機能の移転計画など様々な施策にもチャレンジしていて、四国大学には教育分野や国家的な施策に大いに協力してもらっている。TAG-RI-BA STUDIOを舞台に地方大学として魅力を高めると同時に、大学を拠点とした産学官の連携のモデルになることを期待している」などと祝辞を述べた。

マウスコンピューターの小松社長は「日本でも成長が期待されるeスポーツ分野で有力な選手を育成していくには、ネット環境の整備や動画配信の仕組みづくりが鍵になる。マウスコンピューターが創立して2023年で30周年を迎えるに当たって、四国大学との連携を深めていき、大学のDXに貢献していきたい」と話した。

オープニング・セレモニーでは、情報教育センター講師の長瀬氏が学生たちとeスポーツの試合のデモンストレーションを実施し、これからの新しい学びと地域連携の可能性について紹介した。

セレモニー終了後には、ゲストとして参加したライブメディアクリエイターのノダタケオ氏が、SBCに所属する学生たちにライブ配信の手順をレクチャーするワークショップも開催された。セレモニー翌日の20日にはオープンキャンパスが開催され、地域の高校から訪れた高校生に向けて四国大学の最先端の取り組みをライブ配信するなど、早速TAG-RI-BA STUDIOが活用された。

徳島駅近くには学外施設として、学生や社会人が自由に利用して交流できるカフェスペースの「Study Cafeteria TAG-RI-BA」が設けられ、学内のTAG-RI-BA STUDIOと有機的に連携していく予定だ。「Study Cafeteria TAG-RI-BAが人と人が直接対面して交流する場とすれば、TAG-RI-BA STUDIOは映像配信などを通じて、地域から発信するだけでなく、世界中と交流していく場として、新しい価値を生み出すことができる」と住吉氏は期待する。



TAG-RI-BA STUDIOのオープニング・セレモニーには、飯泉徳島県知事（右から2人目）とマウスコンピューターの小松社長（左から2人目）が駆け付けた。中央は松重学長、写真右はライブメディアクリエイターのノダタケオ氏、写真左はマウスコンピューター第一営業本部 部長の金子覚氏



学生が対戦するゲームを実況する長瀬氏。高齢者のリハビリにも有効とされるeスポーツを通じて、幅広い世代間の交流に期待を寄せる



オープニング・セレモニー後に開催されたノダ氏によるライブ配信のワークショップ。SBC所属の学生たちがオープンキャンパスのリハーサルを行った

## 法人のお客様 お問い合わせ

TEL 03-6636-4323

FAX 03-6739-3821

### ■受付時間

平日 9時～12時/13時～18時

土日祝 9時～20時